

2008 年度

科目名 教職研究特講		対象学科・学年 教育 福祉専攻科 (前期)	担当者 やまもと けいすけ 山本 啓介
授業テーマ ・『教員』として生きる「自分」づくり			
授業の概要と目標 現下、教育界が「国民の信託を受け、教育・保育をつかさどる」教員に期待する資質能力は、①豊かな人間性②実践的教育指導の力③教育的愛情、教育への熱情、強さの職責感等々を備えもち、これらの教育性と一体感を持つ人物である。 本授業では、新任教員レベルにおいて備え持つべき教育観・教師観・学校観等の確立を図り、教員の「起訴・基本」を実習し、その定着を図る。			
評価方法 (1) 日常の学習姿勢、態度 (2)教育小論文 (3)研究発表 (4)講演感想等の学習実績 (5)臨時テスト (6)人物成長度等々をもとに、総合的に評定する。			
テキスト ・教職員ハンドブック第一次改訂版 東京教職員研修センター監修		著者 ・教職員ハンドブック編集委員会	出版社 ・都政新報社 ¥2400E
参考書 ・大阪府・大阪市等、新任教員研修テキスト資料 (抜粋) 担当教員より講義・学習資料を供与する。		著者	出版社
授業スケジュール・内容			
講	授 業 の 内 容	授 業 の 方 法	
1	I、自らの教育観・教師観・学校観を確立する。 (1)教育者としての構え	(a)講義と研究法指導 (b)学外講師を囲む学習会 ＜進行と学生指導＞担当教員 ＜学習場所＞各依頼先学校 ・現職の校園長 ・現職の教頭 (園主任) ・現職の教務主任 ※教育小論文の提出	
2	(2)教育的愛情と職責感		
3	(3)職員の服務と使命、勤務の姿勢態度		
4	(4)教員採用と人物評価		
5	II、校務の分掌と対応、処理 (1)学校教育目標具現の営み	(c)学習課題の研究と発表 ・課題調査研究 (報告文提出) ・研究発表と討議 (d)学校訪問「特色のある学校づくり」 ・学習感想文の提出 (e)自己育成記録「進歩のノート」	
6	(2)工務の分掌と内容		
7	(3)学級事務の処理		
8	III、学校教育活動と組織体制 (1)校長を中心とした維新体制		
9	(2)目的、有機的な組織活動		
10	(3)学校づくりと教員の連携、協業		
11	(4)職場の人間関係作り		
12	(5)学校の説明責任と教員の仕事		
13	IV、自己育成の管理 (1)自己向上 (研究・研修) の姿勢		
14	(2)教職と心身の健康管理		
15	(3)教員採用試験に向けて ・学習のまとめと自己学習評価		